

高等小學
女子用
習字本

埼玉私立教育會編纂

卷
菱澤揮毫

日用書類
一ノ下

K120.71
32.4a
1.2

K120.71

32.4a

1.2

埼玉私立教育會編纂
卷 菱澤揮毫

第一年後期

高等小學
女子用 習字本

日用書類

埼玉私立教育會藏版

所持の裁縫教室

書印のまにまにあり

三日お借したく度

高等小學女子用

古中越之書物何也

居山あふさしふ山也

近視人下さ身さ度ふ。

先刻字校へ古持糸

之毛糸何於て山求

抱いされ幾何さ度ふ

昨日好借したくは清
傘は返してゆく
古交元下とて是度は

今年之菊花の出
来よ後くは様も元
元の中へ一株さへよ

清心よかけられ美事

の菊をさし立ててみ下され

ありさく拭んや。

私より痛中ニ書

もまや快くおなりや

百舌あ心下され度や

古痛氣只全快哉

古是目出度為何事

古内古何心中心

古心配下され姉

事作の安産性いた

古浦の心とせり

古柳上様より送安

産好遊里水戸より目

出度元人作。

安志味むげしよ

又皆之様送信より

古産なくも哉何よ

蘭葉辭林 妙法解

一

九

私方なくおそろひ
家友なく誓う居る
中安下心下は好度也。

明教母と共に出家
したる四五百箇逗留
し積る居る

相癒しく清用向也

空座より遠く魚なく

巾着け下され度也。

昨日叔母の宅へ参り

はからほも誰様了

古目と掛りゆき又

此果は前様へ届け
くは様と教へ付持
し世さしへ阿げ候。

今のき私誕生のふ
付態と祝いたし
まは出下され度し

さて又此のまふは

の廣蓋二枚の白

ちまき清の傍りかしたるは

清誕生の御祝

阿そはされは由ま

清招き下されは不

